

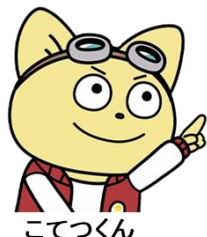
— 大樹町宇宙航空課ニュースレター —

# Taiki Aerospace News

## 十勝総合振興局長がHOSPOを視察

6月18日、十勝総合振興局の鈴木 章代振興局長がHOSPOを視察しました。宇宙交流センターSORAで意見交換をした後、現在工事中のLC1を見学しました。視察には町長やSPACE COTAN株式会社の小田切氏が同行し、煙道やプラント、VABの工事状況について説明しました。

振興局では、自治体関係者向けの衛星データ利活用セミナーを開催するなど、管内における宇宙産業の普及・拡大に向けた取り組みを進めています。



<大樹町宇宙応援アンバサダー>

VABって何?! ~今日のなんちゃら雑学~

VAB (Vehicle Assembly Building) は「**ロケット組立棟**」と呼ばれる、**ロケットの組み立てや点検・整備を行うための建物**なんだよ!

ロケットはVABの中で移動発射台の上に組み立てられ、打上げに向けた準備が進められるんだって~

準備が完了すると、そのまま射点まで運ばれ、いよいよ宇宙へ向けて飛び立つんだよ!

## 『スペースイラストコンテスト』作品募集開始!

### 2026 スペースイラスト コンテスト

応募締切  
**2026.8/31(月)**

応募のきまり

- 1 内容  
「宇宙につながる未来のまち」をテーマに、ロケットが飛ぶまち、宇宙旅行ができるまち、月や火星につながるまち、みんなが考えるワクワクする未来のまちを自由に書いてみよう!
- 2 応募資格  
小学生・中学生・高校生
- 3 色や大きさ  
カラー・モノクロ、クレヨン・水彩など種類は問いませんが、大きさは画用紙(四切り) 392×545mm) とします。
- 4 応募締切 令和8年8月31日(月) 必着
- 5 応募方法  
応募する作品の裏に住所、氏名、通っている学校、学年、連絡先を記入の上、郵送または持参により下記へ提出ください。  
〒089-2195 広尾郡大樹町東本通33番地  
大樹町宇宙航空課 YAC大樹分団事務局  
(電話: 01558-8-7007)
- 6 審査・発表・表彰  
審査会を開催し、入賞作品(10作品)を決定します。入賞者には事務局から連絡します。また、入賞者は、大樹町柏林公園まつり(9月20日開催)で表彰します。
- 7 展示  
入賞作品を柏林公園まつり会場・道の駅コスモール大樹、全作品を大樹町生涯学習センターで展示します。
- 8 その他  
希望者には作品を返却します。なお作品の版權は主催者に属し、自由に使用させていただきます。

作品大募集!

入賞10作品には  
豪華賞品も!!

<主催>  
日本宇宙少年団大樹分団  
大樹スペース研究会

<後援>  
大樹町  
大樹町議会  
大樹町教育委員会  
十勝毎日新聞社  
釧路達邦タイキ共和国  
インターステラテック/ロジス(株)  
SPACE COTAN(株)

2026年スペースイラストコンテストの作品募集を開始しました。

応募資格は、小学生・中学生・高校生で、今年は、「**宇宙につながる未来のまち**」をテーマに、みんなが考えるワクワクする未来のまちを募集しています。

昨年は**156作品**もの応募があり、最優秀賞には**平岡 凧翔さん**が選ばれました。

毎年、応募作品は生涯学習センターに展示しており、入賞者については、柏林公園まつり内で表彰しています。

また、今年は作品を**帯広空港**で展示することが決定しており、多くの方々にご覧いただける貴重な機会となりますので、ぜひご応募ください!

チラシの拡大版はこちら!



# 第26回ペットボトルロケットコンテストin大樹の開催について

8月2日（日）に「歴舟川清流まつり」のイベントとして「ペットボトルロケットコンテストin大樹」を開催します。

こちらは、「宇宙のまち」ならではの恒例行事となっており、今回で**26回目**を迎えます。

競技内容は、ロケットのサイズ、打上げ角度、ポンピング回数を定めた「**規定競技**」、規定のない「**自由競技**」、機体のデザインを審査する「**デザイン競技**」の3部門です。

去年は、自由競技部門にて、**336.28m**という本コンテストでの歴代最高記録が出ました！今年はこの記録を超す挑戦者が現れるかも大きな見所になりそうです！！

また、7月22日（水）には、コンテストに向けた「**ペットボトルロケット製作教室**」を役場で開催します！

初めての方でも講師が分かりやすく説明しながら製作しますので、興味がありましたらぜひお申込みください。

コンテスト・  
製作教室の  
申込みは  
こちら！



## コラム 進化する日本の人工衛星「みちびき」

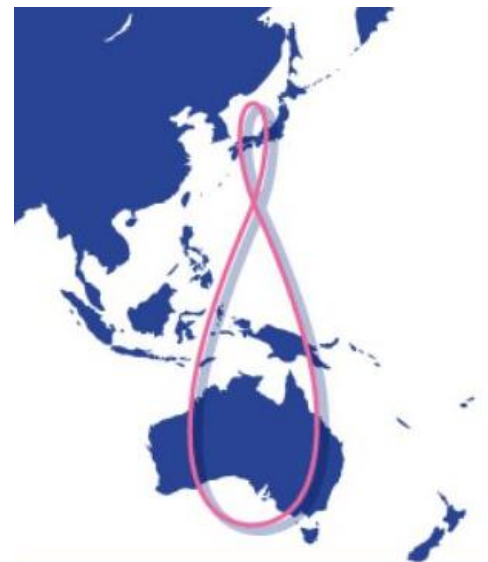
現在、日本の人工衛星「みちびき」は**4機体制**で運用され、1機が静止軌道、残る3機が「8の字」を描く準天頂軌道を周回しています（右図参照）。位置情報の特定には最低4機の電波が同時に必要ですが、今の体制では常に4機を地上から捉えられないため、米国のGPSと協力して測位しています。

しかし、**今後の打上げで「7機体制」**になると、常に日本上空で4機以上を捉えられるようになり、**自国の衛星のみで測位が可能**になります。

実は、現在の4機体制でも「**誤差数センチ**」の高精度な信号はすでに提供されていますが、7機体制の目的は、この数センチの精度をビル街や山間部でも「**途切れず安定して**」使えるようにすることです。

他国の衛星に頼らない「**自立**」と、どこでも高精度が続く「**安定性**」が実現することで、**自動運転などの技術が安全に普及**し、私たちの暮らしはさらに便利になることでしょう。

みちびきの軌道



出典：qzss.go.jp  
提供：内閣府宇宙開発戦略推進事務局